

図書館へ行こう！

＜読書感想文コンクール ☆ 校内入賞者発表＞

夏休みの課題で出された読書感想文の審査が先日行われ、国語科の先生方によって次の作品が選ばれました。

高校の部

中学の部

	氏名	タイトル	賞		氏名	タイトル
2C	成清 麗香	忘れえぬあの人	最優秀	3-1	藤並 優衣	私が咲く場所
2C	高見 空良	あの時代と現代-『海と毒薬』を読んで	優秀	1-1	有田よし乃	大きな夢を追いかけて
3B	倉元 苑圭	今日の空を忘れても	優秀	2-3	木山 祥花	義人なし、一人だになし
3B	満安 恵	人間とは-『人間失格』を読んで	優秀	3-2	林田佐和子	人種差別のない社会へ
3C	一原莉彩子	生命への態度の最適解	優秀	3-3	福原 陸斗	何の夢も叶えぬまま消えてゆく僕等
1B	井上麻里愛	現実とリアル	佳作	1-1	桑水向日葵	「友だち」とは…?
1C	町川 祐紀	平常心という狂気	佳作	1-2	菅 純成	「一球」に込められた思い
1C	永山由佳子	愛の大きさ	佳作	1-3	竹之山尚也	あつくなったあの瞬間
1D	佐々木 耕	本と祖母	佳作	2-1	東 綾音	自分にできること
1D	柊山 広樹	人間の罪責意識	佳作	2-2	吉武由実可	時間を大切にする
2B	岡野 奈美	『葉桜と魔笛』を読んで	佳作	2-3	山本 峻輔	死ぬ気の本気
2B	川本 悠里江	小さな優しさに触れて	佳作	3-3	早野 真央	死んで守るのはつまらない
2D	木田 朋花	斜陽における人間とは	佳作	皆さん、おめでとう ございます！		
3A	愛下 菜由	幸せのすべて	佳作			
3A	上村 奈々香	狂気を孕んだ愛の行方	佳作			

このうち、高校の部では成清さん、高見くん、倉元さん、満安さん、一原さんの作品が県の審査へ、

中学の部では藤並さん、木山さん、有田さんの作品が市の審査へ、それぞれ出品されます。

..°°° .+. ☆ :°.°.°° :°.°.°+° .°.☆° :°.+.°.°.°.°° +°.°.°.°+.☆° :+° .+.°°° .+.°°° :

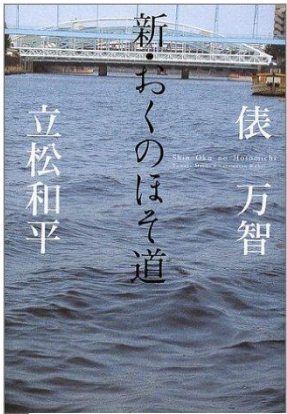
図書館特別展示『おくのほそ道展』

『おくのほそ道』は、江戸時代の初期に松尾芭蕉が旅の記録を書いた作品です。その旅とは、春に東京を出発して反時計回りに東北をめぐる、山を越え日本海側に出て、関西の滋賀県に到着するという 全行程 2,400km、約 150 日間に及ぶ長いものでした。当時芭蕉は46歳。もちろん徒歩での旅です。さあ 全62句の俳句を織り交ぜながら書きつづられた『おくのほそ道』の世界を、少しずつひも解いてゆきましょう。

(参考)『日本古典文学辞典』岩波書店 2007

展示図書
の紹介

俵万智・立松和平著『新・奥のほそ道』



河出書房新社 2001 刊

芭蕉の散文の最高傑作といわれる紀行文に、芭蕉の俳句と俵万智の短歌、立松和平のエッセイを響きあわせ融合させた一冊。

八〇余りのカラー写真を掲載した「おくのほそ道」刊行 300 年(1702 年刊)記念出版です。

以下、抜粋

草の戸も住替る代ぞ雛の家
行く春や鳥啼魚の目は泪 芭蕉
見慣れたる部屋の景色とゆく春に
別れを告げて旅が始まる 万智

夏草や兵どもが夢の跡 芭蕉
ひたすらの夏草にして目に見えぬ
ものばかり見ている平泉 万智

名月や北国日和定めなき 芭蕉
月の夜のデートに傘をしのばせて
北陸育ちの秋の女は 万